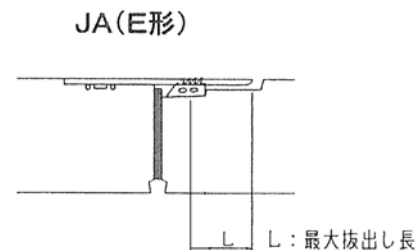


表3 - 6 下水道推進工法用ガラス繊維鉄筋コンクリート管 (その2) JSWASA-8

管径 (mm)	有効長 (m)	許 容 (追加)		最 大			
		曲げ角度(°)	拔出し長(mm)	曲げ角度(°)		拔出し長(mm)	
				正	誤	正	誤
800	2.43	4° 00'	67	4° 16'	4° 48'	71.5	60
900	2.43	3° 33'	67	3° 47'	4° 16'	71.5	60
1000	2.43	3° 12'	67	3° 25'	3° 50'	71.5	60
1100	2.43	2° 56'	67	3° 7'	3° 31'	71.5	60
1200	2.43	2° 41'	67	2° 52'	3° 13'	71.5	60
1350	2.43	2° 24'	67	2° 35'	2° 53'	72.0	60
1500	2.43	2° 09'	67	2° 19'	2° 35'	72.0	60
1650	2.43	1° 58'	67	2° 7'	2° 22'	72.0	60
1800	2.43	1° 49'	67	1° 57'	2° 10'	72.0	60
2000	2.43	1° 38'	67	1° 45'	1° 58'	72.0	60
2200	2.43	1° 29'	67	1° 36'	1° 47'	72.0	60
2400	2.43	1° 22'	67	1° 43'	2° 02'	84.0	60



訂正して追加

- 1 パール2における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大曲げ角度とは、最大拔出し長を角度として表したものであるが、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 パール1における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパール1照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

前編			
頁	訂正箇所	誤	正
19	表1-5 抜きし屈曲角の許容値 レベル1	1/2とする	原則1/2とする。 ただし、性能規定値に基づき確認されているものはその限りではない。
22	5-2-12 抜きし量屈曲角の許容値		追加文 ただし性能規定値に基づき確認されているものはその限りではない。
50	表3-10 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管 JSWASK-13 管径 400～500	103	77
1-27	(2)管種・管径・埋設地盤条件	継手部許容屈曲角度 0 1°22'30	許容屈曲角度 0 1°35
		継手部許容抜き量 0 2.8(cm)	許容抜き量 0 3.22
1-31	4.安全性の検討		
	地震動による屈曲角 許容値	1°22'30°	1°35
	地震動による抜きし量 許容値	2.8(cm)	3.22
	最大屈曲角の1/2	2°45' × 1/2 = 1°22'30	3°10' × 1/2 = 1°35
	最大抜きし量の1/2	56mm × 1/2 = 28mm	64.5mm × 1/2 = 32.2(3.22)
1-32	(2)管種・管径・埋設地盤条件		
	許容屈曲角度 0	1°22'30	1°35
	許容抜きし量 0	2.8cm	3.22cm
1-38	4.安全性の検討		
	地震動による屈曲角 許容値	1°22'30°	1°35
	地震動による抜きし量 許容値	2.8cm	3.22
	地盤急変部での抜きし量の許容値	2.8cm	3.22
	最大屈曲角の1/2	2°45' × 1/2 = 1°22'30	3°10' × 1/2 = 1°35
	最大抜きし量の1/2	56mm × 1/2 = 28mm(2.8cm)	64.5mm × 1/2 = 32.2mm(3.22cm)
1-53	(2)管種・管径・埋設地盤条件	継手部許容屈曲角度 0 2°45	許容屈曲角度 0 3°10
		継手部許容抜き量 0 5.6(cm)	許容抜き量 0 6.45(cm)
1-57	4.安全性の検討		
	地震動による屈曲角 許容値	2°45	3°10
	地震動による抜きし量 許容値	5.6(cm)	6.45(cm)
	最大屈曲角	2°45	3°10
	最大抜き量	5.6(cm)	6.45(cm)
1-58	(2)管種・管径・埋設地盤条件		
	許容屈曲角度 0	2°45	3°10
	許容抜き量 0	5.6(cm)	6.45(cm)

1-65	4.安全性の検討		
	地震動による屈曲角 許容値	2° 45	3° 10
	地震動による拔出し量 許容値	5.6	6.45
	地盤沈下による屈曲角	2° 45	3° 10
	地盤沈下による拔出量	5.6	6.45
	地盤急変部での拔出し量	5.6	6.45
	最大屈曲角 1000mmの場合	2° 45	3° 10
	最大拔出し量 1000mmの場合	5.6	6.45
2-21	(2)管種・管径・埋設地盤条件		
	管種	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(E形管)
		継手部許容屈曲角度 0 1° 27 30	許容屈曲角度 0 3° 12
		継手部許容拔出量 0 3.0	許容拔出し量 0 6.7
2-25	4.安全性の検討		
	地震動による屈曲角 許容値	1° 27 30	3° 12
	地震動による拔出し量 許容値	3.0	6.7
	* -1	最大屈曲角の1/2 1° 27 30	許容屈曲角 3° 12
	* -2	最大拔出し量の1/2 30(3.0)	許容拔出し量 67(6.7)
2-26	(2)管種・管径・埋設地盤条件		
	管種	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(E形管)
	許容屈曲角度 0	1° 27 30	3° 12
	許容拔出し量 0	3.0	6.7
2-32	4.安全性の検討		
	地震動による屈曲角 許容値	1° 27 30	3° 12
	地震動による拔出し量 許容値	3.0	6.7
	地盤急変部での拔出量 許容値	3.0	6.7
	* -1	最大屈曲角の1/2 1° 27 30	許容屈曲角 3° 12
	* -2	最大拔出し量の1/2 30(3.0)	許容拔出し量 67(6.7)
2-49	(2)管種・管径・埋設地盤条件		
	管種	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(E形管)
		継手部許容屈曲角度 0 2° 55	許容屈曲角度 0 3° 25
		継手部許容拔出し量 0 6.0	許容拔出し量 0 7.15
2-53	5.安全性の検討		
	地震動による屈曲角 許容値	2° 55	3° 25
	地震動による拔出し量 許容値	6.0	7.15
	永久ひずみによる拔出し量 許容値	6.0	7.15
	最大屈曲角	2° 55	3° 25
	最大拔出し量	6.0	7.15
2-54	(2)管種・管径・埋設地盤条件		
	管種	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管(E形管)
	許容屈曲角度 0	2° 55	3° 25
	許容拔出し量 0	6.0	7.15

2-61	6. 安全性の検討		
	地震動による屈曲角 許容値	2° 55	3° 25
	地震動による拔出し量 許容値	6.0	7.15
	地盤沈下による屈曲角 許容値	2° 55	3° 25
	地盤沈下による拔出し量 許容値	6.0	7.15
	地盤の永久ひずみにより拔出し量 許容値	6.0	7.15
	地盤急変部での抜き出し量 許容値	6.0	7.15
	最大屈曲角	2° 55	3° 25
	最大拔出し量	60(6.0)	71.5(7.15)
4-24	(1)地震動による屈曲角に関する照査	許容屈曲角	屈曲角
	(2)地震動による拔出し量に関する照査	許容拔出し量	拔出し量
	(3)管体応力に関する照査	許容応力	使用限界
4-30	(1)地震動による屈曲角に関する照査	限界屈曲角	終局限界屈曲角
	(2)地震動による拔出し量に関する照査	限界拔出し量	終局限界拔出し量
4-34	13行目	:管路の長さ(mm ²)	:管路の長さ(mm)
	23行目	L:見かけの波長=2 L	L:見かけの波長=L 2
	31行目	= 20000(mm ²)	= 20000(mm)
4-36	18行目	L = 2 × L	L = L 2
4-37	(1)地震動による屈曲角に関する照査	許容限界屈曲角	使用限界屈曲角
	(2)地震動による拔出し量に関する照査	レベル2	レベル1
		許容拔出し量	使用限界拔出し量
4-39	5行目	L:見かけの波長=2 L	L:見かけの波長=L 2
	15行目	L' = 2 L	L = L 2
4-40	下から3行目	0.03300	0.02500

